

枚方淀川探鳥会2024年11月

2024年(令和6年)11月3日(日祝) 9:00~12:00

日本野鳥の会大阪支部

前田初雄、甲田正二、西脇淳浩、香月清宏、
松井正夫、新名泰博、平 軍二 (☎090-6901-1425)

I 今月はサメビタキ属の鳥紹介



サメビタキ (20241006)西脇淳浩氏



エゾビタキ

①10月枚方淀川探鳥会でサメビタキ属の3種観察 先月の探鳥会では、見たいと資料に入れた草原の鳥のノビタキは観察できなかったが、樹林のサメビタキ属3種(コサメビタキ6羽、エゾビタキ12羽・サメビタキ2羽)が観察できた。中でもサメビタキはP2観察リストからわかるように最近12年間で1回しか観察していなかった稀な鳥、エゾビタキも8回と観察記録の少ない鳥であった。このサメビタキ属3種は、探鳥会コースの樹林伐採がされたことで、ここ5年~10年間は観察できなくなると思われる種であり、貴重な記録となった。

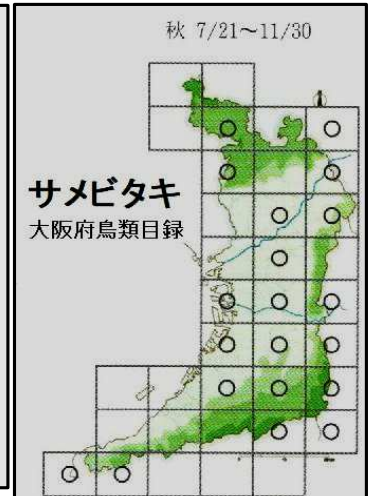
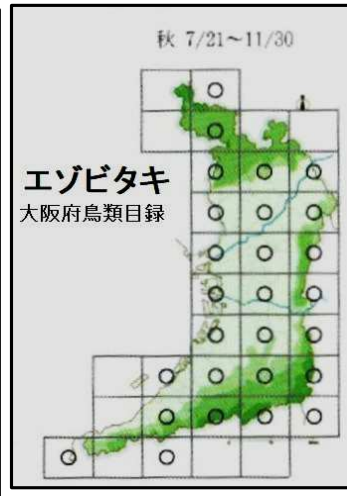
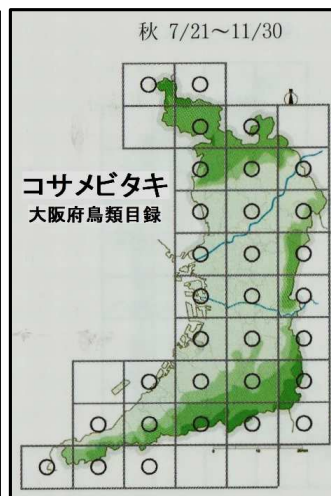
②大阪府のサメビタキ3種

サメビタキ属3種の大阪府での秋の渡りの観察記録を並べてみた。

コサメビタキはほぼ全メッシュで確認、エゾビタキはコサメビタキより数メッシュ少ないのみ、サメビタキも思いのほか記録メッシュが多かった。

コサメビタキ・エゾビタキは公園や樹林での観察時の個体数が複数羽のことが多いのに対し、サメビタキは1羽のことが多いので、この図から受けるよりずっと少ない。

尚、3種のうち大阪府内で繁殖しているのはコサメビタキのみである。



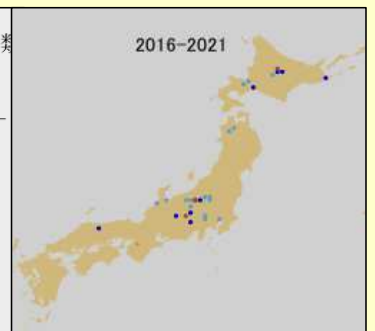
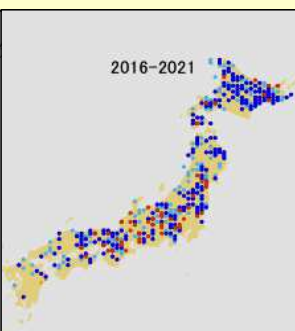
③コサメビタキ・サメビタキ日本の繁殖地 (全国鳥類繁殖分布調査結果: 鳥類繁殖分布調査会)

サメビタキ属3種主繁殖地はロシア東部・樺太などであるが、日本国内でも繁殖しているコサメビタキ・サメビタキについて国内での繁殖状況を比較した。

コサメビタキはほぼ全国に繁殖しており、2010年代は1990年代に比し増加している。

サメビタキは繁殖記録があるものの、国内の繁殖地は非常に少ない。従って春・秋渡りの季節に観察できる個体の大部分は主繁殖地であるロシア東部・樺太・カムチャッカなどで生まれたと推定される。

エゾビタキは、春・秋の渡りの季節に国内を通過する旅鳥である。



II 探鳥会観察チェックリスト

日本 鳥類 目録	鳥名	観 察 回 数	2024												日本 鳥類 目録
			1/7	2/4	3/3	4/7	5/5	6/2	7/7	8/4	9/1	10/6	11/3	12/1	
5	キジ	49				3	2	3		夏		1			5
10	マガン	0				1				休					10
21	ツクシガモ	1	3	1						み					21
26	オカコシガモ	47	3	26	38	8									26
27	ヨシガモ	16	6	11	19	2									27
28	ヒドリガモ	44	2			3									28
29	アメリカヒドリ	5													29
30	マガモ	56		2											30
32	カルガモ	91			2	4	7	3		○	1				32
34	ハシビロガモ	9													34
35	オナガガモ	8													35
36	シマアジ	1													36
37	トモエガモ	1													37
38	コガモ	59	1												38
42	ホシハジロ	40	48	70	33	2									42
43	アカハジロ	4		1											43
46	キンクロハジロ	42	114	275	67	31									46
47	スズガモ	6													47
58	ミコアイサ	1													58
59	カワアイサ	46	15	6											59
60	ウミアイサ	3													60
62	カイツブリ	46	1	1		2									62
64	カンムリカイツブリ	57	4	9	2	5	1								64
66	ハジロカイツブリ	4													66
74	キジバト	112	3	10	6	4	7	2	2		○	4			74
83	シロエリオオハム	1													83
127	カワウ	111	9	16	6	3	11	5	6		○	47			127
139	ゴイサギ	10													139
141	ササゴイ	15				2	1	1							141
143	アマサギ	2					3								143
144	アオサギ	113	4	2	10	4	1	1	2		○	4			144
146	ダイサギ	109	2	3	3	2	1	6	1		○	5			146
148	コサギ	100	3	4	1	2	1	3	3		○	6			148
153	ヘラサギ	1													153
154	クロツラヘラサギ	1													154
166	クイナ	12													166
170	ヒクイナ	7													170
174	バン	23													174
175	オオバン	48	53	122	54	66	8								175

日本 鳥類 目録	鳥名	観 察 回 数	2024												日本 鳥類 目録
			1/7	2/4	3/3	4/7	5/5	6/2	7/7	8/4	9/1	10/6	11/3	12/1	
185	ホトギス	2											夏		185
187	ツツドリ	2											休		187
188	カッコウ	1											み		188
192	アマツバメ	2													192
194	タゲリ	1													194
195	ケリ	27													195
202	イカルチドリ	9													202
203	コチドリ	30			1			5							203
204	シロチドリ	4													204
219	タシギ	4	1												219
227	チュウシャクシギ	2													227
235	アオアシシギ	1													235
239	クサシギ	3													239
241	キアシシギ	1						4							241
244	イソシギ	80	2	3	1	1	1				○	3			244
251	トウネン	1													251
266	ハマシギ	1													266
286	ユリカモメ	22													286
293	ウミネコ	3													293
294	カモメ	3													294
299	セグロカモメ	19		1											299
307	コアジサシ	9													307
339	ミサゴ	66	1	2	2	1	1	1					1		339
340	ハチクマ	2													340
342	トビ	92	2	2	1	3	3	2	1		○	3			342
349	チュウヒ	1		1											349
350	ハイロチュウヒ	1													350
355	ハイタカ	33	1	2											355
356	オオタカ	25		1	1										356
357	サシバ	1													357
358	ノスリ	34	1	1											358
366	オオコノハズク	1													366
383	カワセミ	97	1		1		3	1	2		○	1			383
388	アリスイ	9													388
390	コゲラ	94	2	3		1	1	1					2		390
393	アカゲラ	6													393
401	チョウゲンボウ	53	1		1	2									401
407	ハヤブサ	26	1		2		1	1							407

日本 鳥類 目録	鳥名	観 察 回 数	2024												日本 鳥類 目録
			1/7	2/4	3/3	4/7	5/5	6/2	7/7	8/4	9/1	10/1	11/3	12/1	
412	サンショウクイ	1											夏		412
418	サンコウチョウ	1											休		418
420	モズ	103	7	6	3	6	1	2	3	み	○	13			420
435	ハシボソガラス	114	11	17	14	7	12	8	4		○	19			435
436	ハシブトガラス	111	3	4	3	2					○	3			436
438	キクイタダキ	8													438
439	ツリスガラ	1													439
442	ヤマガラ	7													442
443	ヒガラ	1													443
445	シジュウカラ	106	7	4	6	12	5	2	4		○	25			445
452	ヒバリ	64									○	1			452
455	ショウドウツバメ	6													455
457	ツバメ	58				11	18	20	45		○	2			457
459	コシアカツバメ	20							15		○	8			459
461	イワツバメ	46	100	30	1	60	3	10			○				461
463	ヒヨドリ	115	153	120	32	74	36	10	40		○	400			463
464	ウグイス	109	6	4	4	10	16	5	5			2			464
466	エナガ	87	5	9	6	3						12			466
476	オオムシクイ	5													476
477	メボソムシクイ	5													477
479	エゾクシクイ	1													479
480	センダイムシクイ	7													480
483	メジロ	92	8	3	4	7	2	6	6		○	24			483
492	オオヨシキリ	30				3	8	3							492
499	セッカ	29				8	1	3							499
506	ムクドリ	102	13	35	2	33	14	76	13		○	33			506
508	コムクドリ	5													508
511	ホシムクドリ	2													511
520	マミチャジナイ	1													520
521	シロハラ	51	2	1											521
522	アカハラ	2													522
525	ツグミ	55	4	27	30	11									525
533	ノゴマ	1													533
536	ルリビタキ	1													536
540	ジョウビタキ	55	1	2	2										540
542	ノビタキ	13													542
549	イソヒヨドリ	33		1	1						○	1			549

日本 鳥類 目録	鳥名	観 察 回 数	2024												日本 鳥類 目録
			1/7	2/4	3/3	4/7	5/5	6/2	7/7	8/4	9/1	10/1	11/3	12/1	
552	エゾビタキ	8											夏	12	552
553	サメビタキ	1											休	2	553
554	コサメビタキ	17											み	6	554
558	キビタキ	16													558
560	オジロビタキ	1													560
561	オオルリ	4													561
569	スズメ	114	26	33	24	25	24	10	23		○	30			569
573	キセキレイ	36	1	2	1								3		573
574	ハウセキレイ	105	8	14	8	4	1	6	1		○	4			574
575	セグロセキレイ	102	2	2	2		1						2		575
584	タヒバリ	29	2	6	25	2									584
586	アトリ	29													586
587	カワラヒワ	104	35	31	36	11	4	14	2				8		587
588	マヒワ	6													588
592	ベニマシコ	44													592
600	シメ	41		1											600
602	イカル	17													602
610	ホオジロ	109		8	2	6	11	10	4		○	3			610
614	ホオアカ	6													614
617	カシラダカ	23													617
618	ミヤマホオジロ	1													618
624	アオジ	65	6	12	9	4									624
628	オオジュリン	17													628
	コジュケイ	13													
	カワラバト(ドバト)	110	23	130	56	14	13	17	1		○	3			
	ハツカチョウ	1													
	カッコウSP	5													
	アイガモ	3						2							
	メボソムシクイSP	5					1						1		
	ヒタキSP	3													
	種数合計(自動計算)		49	48	41	39	36	33	26			25	36		
	個体数合計(自動計算)		709	1047	548	333	290	239	202				697		
	探鳥会参加者数		24	17	27	24	32	26	17			9	30		
	11年 間	1~2回													
		100回以上													
	今後 探鳥会 参加者														

2012年1月~2023年12月の11年間に観
察回数のない種・多い種、更に樹林伐
採の影響を受けると思われる種をリスト
アップした。

Ⅲ 次回は12月1日)
午前9時 ラポールひらかた前

今日と同じように 大阪支部HPからホームズ様式からお申し込みくだ
さい。
12月は冬鳥のカモ・カイツブリ、そして冬の小鳥が定住する季節。
「野鳥通りの樹林」が残っていた頃は50種越えていましたが、当面は40
種が目標になります。

IV 先月(10月6日)探鳥会報告

(写真 西脇淳浩)



メジロ



ミサゴ

秋晴れの渡り鳥を期待される中、定員いっぱいの申し込みがあり、今月の鳥に選ばれたノビタキを観察することを目的にスタートした。モズの高鳴きがあちこちで響き、ヒヨドリの群れが飛び交う秋らしい出だし。淀川の水面にはまだカモの姿はなく、カワウもちらほら出る程度。青大小のサギを観察する。ワンド沿いの緑地に入るとあちこちでエゾビタキが愛らしい姿を見せてくれた。

天の川では、セグロセキレイ、キセキレイ、イソシギ、コサギ、ホオジロを観察し、カワセミを見た人も。川岸の緑地にはシジュウカラ、エナガ、メジロ、コゲラの混群に癒やされ、水を飲みに水辺に現れるメジロを観察した。

今年の冬に樹林を伐採されたエリアに入ると、オオブタクサをはじめとする草本はゆうに3mを超え、人の視界を塞いでしまった。とはいえ上空が開けたおかげか南に渡る途中のコシアカツバメやツバメが飛び交う様子や、遠くにミサゴがダイビングする様子を観察した。

しばらく歩き、刈残された小さな林にエゾビタキ、コサメビタキが自己主張し、カラ類混群が飛び交い、カワラヒワも現れた。先程川面でダイビングしたと思われるミサゴやカワウの小群を観察した。

いつものコースを逸れ、堤防に登り、僅かに残された水田地帯と高水敷の草地にノビタキを探しても見つからない、しばらく堤防を歩いて行くと、中学校のフェンスにいたのはサメビタキ。しばらく観察してタイムオーバー、堤防を引き返すが、途中でキジの姿を目撃した人も居た。猛禽やカモがあまり出なかったものの、秋らしい渡り鳥など36種の観察となった。

IV 野鳥通り樹木伐採がgoogleマップに

先月の資料に、一年前まで「野鳥通り」と呼ばれていた樹林は、オオタカの森を残して伐採されたことを写真を示した。

たまたま、Googleマップを見たところ、伐採されたオオタカの森①が残されている新しい空中写真に変わっていました。

今年はその南側の黒田川・天野川に挟まれた樹林②が伐採される計画であることを発表されています。

先月の資料に書きましたが、「最近、50年に一度、100年に一度」といわれるような水害があちこちで頻発しています。最近も能登半島の水害があったが、河川敷および周辺の樹木が流されて下流の橋桁に引っかかっている光景を見られたかと思いますが、河川周辺の人々の安全な生活を守るために、河川敷内の樹木伐採はやむを得ないと思っています。



← ↑ ②天野川・黒田川間の樹林



天野川・黒田川間 淀川沿いの樹林(20230903)